

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2022年11月17日(木)
NO. 1325号
本号3頁

宮城憲法会議 2023年度総会開催

**「憲法学校」、「市民の憲法行事」、
「5・3憲法を活かす宮城県民集会」の3本柱活動で大奮闘**

宮城憲法会議の2023年度総会が11月11日に、仙台市シルバーセンターで開催されました。冒頭の開会あいさつで、代表委員の鹿又喜治氏は、岸田政権の支持率が国葬問題・統一協会問題で急落しているが、両院で改憲派が3分の2以上を占めており、注意して行かねばならない。宮城憲法会議は1965年に79名が呼びかけ人となって結成されたが、その後運動で停滞し、1979年に再建され、その後は「継続は力なり」とたたかってきた、宮城憲法会議の旗印のもとで改憲阻止のたたかいが続けられている。そのことに確信を持って、奮闘しようと述べました。

次に、中央憲法会議からの報告として、憲法会議の高橋事務局長が、国葬反対のたたかいの成果、支持率急落の下でも改憲に意欲示す岸田政権と憲法審査会の動向等を報告しました。

その後、活動報告及び活動方針を鶴見聡志事務局長が提案。鶴見氏は活動報告で、2022年度当初方針として提起した、①憲法学校、②市民の憲法行事、③5・3憲法を活かす宮城県民集会の3本柱活動を展開することができたと報告。①憲法学校は、1)「日本国憲法と私たちの課題」小野寺義象幹事長講演、2)「暴走する憲法審査会を審査する」大江京子法律家6団体事務局長、3)「学生の今を語る～憲法運動にもとめられているもの～」片山知史代表委委員・森進生仙台けやきユニオン代表、4)「靈感商法被害の実態『統一協会』問題学習」半澤力靈感商法対策弁護士・齋藤信一幹事と、4回開催された。②市民の憲法行事は、コロナ禍のため2年連続で中止となったものですが、3年ぶりに実施することができた。それも、2021年度の申し込みは9件でしたが、2022年度は25団体の参加を得てできた。③5・3憲法を活かす宮城県民集会は、宮城憲法会議・宮城県護憲平和センター、憲法を守市民委員会、宮城9条懇話会の4団体で、仙台国債センターホールで開催し、東大法学部の石川健治が「私的領域を守立憲利システム」と題して講演。その後、数年ぶりにデモ行進を会場から、勾当台公園まで実施した、等と報告しました。

さらに、県内の学習会の講師活動、他団体との協働の取り組みなどが報告。そのなかで、「憲法審査会を審査する会」の名のもとに憲法審査会を複数人で傍聴する企画を立てたが、実施ないままとなったとも報告されました。

そして、それらを推進してきた幹事会はほぼ毎月開催され、充実した議論が行われ、各団体の情報公園の場であるのみならず、日々の運動方針を決定する上でも重要な役割を果たしたと報告。

2023年度の活動方針については、例年の①憲法学校、②市民の憲法行事、③5・3憲法を活かす宮城県民集会の3本柱活動を展開することが提案されました。さらに、他団体との一層の連携した活動、学習活動、署名活動、そして広報活動の充実が提案されました。

「憲法審査会を審査する会」などを結成し、憲法審査会を注視していこう

討論では、①憲法審査会が重要であり、水曜日の参議院、木曜日の衆議院憲法審査会の傍聴を、地方でどう具体化していくか検討しなければならない。②「憲法審査会を審査する会」などの結成を検討し、宮城でも憲法審査会の同時配信による傍聴を呼びかけるとか、体制も含めて検討すべきである。③憲法審査会のダイジェスト版のような30分間映像等を作成できないか。④事務局よ

り。憲法会議の憲法しんぶん速報等は、事務局に届くと、すぐに県内に発信している。憲法審査会の議事録等の資料も届けば、直ぐ発信する、等の発言がありました。

最後に、高橋正行代表委員が、岸田政権は支持率が急落しているが、魯迅が「川に落ちた犬は棒で叩け」と言っているように、支持率が急落している岸田政権と徹底してたたかおうと、奮闘を呼びかけました。

高知憲法会議 「憲法出前講座」第2弾 スタート

いつでもどこでも憲法学習！全国署名のエンジンに

高知憲法会議「憲法出前講座」第2弾

DVD化・YouTube配信

「いつでもどこでも誰とでも」学習できる、「憲法出前講座」の第2弾が完成しました。今回もDVDとして希望団体・個人に配布するほか、YouTube配信を行います。

いま国会では、改憲勢力が2/3を占める危険な状況です。学習動画では、今後改憲発議をさせない運動をすすめるために、自民党改憲案と自衛隊明記論など、これからの運動をすすめるために整理しておくべき課題を学ぶことができます。ぜひ、ご活用ください。

「改憲発議をさせない!ここからのススメ方・考え方」(約55分)

講師 高知法律事務所 近藤恭典弁護士

★55分の学習会を4本の動画に分割。学習しやすい★

動画①改憲手続きと国会情勢(約10分)

動画②「自衛隊明記論」とは～9条・自衛隊についての世論(約9分)

動画③9条と自衛隊をめぐる議論は(約22分)

動画④「護憲」と「改憲」の”正しい”線引き(対決軸)～まとめ(約11分)

動画①

<https://youtu.be/WyT7uPyhpV4>



動画②

https://youtu.be/KCbS_MBUL-8



動画③

<https://youtu.be/4dvcx64ZnWE>



動画④

<https://youtu.be/Ui430Evr65g>



DVDご希望の方

高知憲法会議まで。
複数枚OK!



憲法改悪阻止高知県各界連絡会議(高知憲法会議)

〒780-0850 高知市丸の内2-1-10 高知県労連内

事務局長: 飯田清久 (携帯) 090-5277-6701 (mail) i-kiyo0618@outlook.jp

香川憲法会議 憲法講座のネット視聴で石川康宏講演を学習

香川憲法会議から嬉しい報告が届きました。

香川では11月12日に、香川憲法会議、9条の会・かがわ、香川革新懇などが主催する憲法学習会を開催し、先月の憲法講座での石川康宏さんの講演をネット視聴いたしました。

25人ほどの参加。講演はたいへん好評で、みなさん勇気をもらったようです。

つきましては、視聴のお礼かたがた、些少ですがカンパを1万円、送金させていただきます。本日中に振り込む予定ですので、よろしく願いいたします。

安保3文書改定阻止、9条改憲阻止のため、大奮闘していきましょう！

〈香川憲法会議事務局長・香川高教組委員長 十河浩二〉

※憲法会議のホームページに、「2022年秋の憲法講座」での石川康宏先生の講演録画と多数のパワーポイント資料が掲載されています。また、山添拓参院議員の講演録画も掲載されています。無料ですので、香川のように集団での学習会や、個人での学習にご活用ください。

岸田内閣の支持率下落が止まらない。支持率 38.6% FNN 世論調査

FNNがこの週末に実施した世論調査で、内閣支持率は38.6%と、政権発足以来初めての30%台となりました。調査は11月12日から13日。

- ◆岸田内閣を「支持する」は、10月より2.3ポイント減って、38.6%。「支持しない」は、57.2%でした。
- ◆物価高騰を受け、岸田政権は総合経済対策を決定したが、調査では、政府の物価高対応を「評価しない」が76%でした。
- ◆岸田首相が表明した電気・ガス料金やガソリン代の平均世帯で総額4万5,000円の支援は、「期待する」が48.5%、「期待しない」が50.7%と、評価が分かれた。
- ◆旧統一教会に対し、解散命令の請求を視野に入れて調査する政府の方針を「評価する」は、71.6%でした。統一協会の被害者を救済する新しい法案を、今の国会で成立させるべきだと思う人は70.1%で、法案の行方が、今後の岸田政権の評価を左右するとみられる。
- ◆「死刑のハンコを押したときだけニュースになる」などと発言して辞任した葉梨前法相については、「辞任は当然だ」が71.5%でした。
- ◆政府の新型コロナウイルス対策を「評価する」は51.5%、「評価しない」は38.9%。ただ、これからの岸田政権で一番怖いのは、感染が拡大して、行動制限をかけるとなった時、支持率はガクッと落ちること懸念をされている。
この結果を受けて、松野博一官房長官は、岸田内閣の支持率が初めて4割を切り、発足以来最低だったことに、世論調査の数字に一喜一憂はしないが、一般論として、世論調査に表れた国民の声を真摯に受け止め、政府としての対応に生かしていくことが重要だとコメントしています。

閣僚辞任2人目 「死刑ハンコ・地味な役割」発言の葉梨法相辞任

葉梨康弘法相は11日、「死刑（執行）のはんこを押す。ニュースのトップになるのはそういうときだけの地味な役職」などとした自身の発言で辞表を提出しました。岸田文雄首相は辞任を認めました。日本共産党をはじめ野党は、葉梨発言について、職責を軽視した問題発言だとして更迭を求めています。

岸田内閣での閣僚辞任は、10月24日の山際大志郎経済再生担当相に続き2人目。岸田内閣には極めて大きな打撃です。岸田首相は、葉梨氏の発言が発覚したあとも更迭を拒否し、「説明責任を果たしてもらいたいと思っている」（10日夜）と続投させる意向を示していました。さらに、11日午前の参院本会議でも、葉梨氏について「改めて職責の重さを自覚し、説明責任を徹底的に果たしてもらわなければいけない」と述べ、野党の更迭要求を拒否していました。

ところが、岸田首相は11日夜の会見では、葉梨氏の発言について「問題がある」と述べましたが、問題の中身については語りませんでした。また、自らの任命責任について問われると「重く受け止める」と述べるにとどまりました。山際辞任と同様に、国民の世論に押されて、夕方にはころっと方針を変えた岸田首相には呆れてしまいます。